



三屍中学校だより

◎思いやりのある生徒 ◎自ら学ぶ生徒 ◎進んできたえる生徒

平成 26 年
7 月号

今年度の目標「文武両道」

日 曜	8月行事等
1 金	三者面談
2 土	教職員大会
3 日	
4 月	三者面談
5 火	
6 水	地区別懇談会
7 木	
8 金	
9 土	
10 日	
11 月	安全点検
12 火	
13 水	
14 木	
15 金	振替休業日
16 土	
17 日	
18 月	
19 火	
20 水	補習講座④ ジュニア議会WS
21 木	補習講座⑤
22 金	補習講座⑥
23 土	奉仕作業・学校応援団の日
24 日	
25 月	
26 火	小中合同研修会
27 水	
28 木	
29 金	
30 土	
31 日	

硬筆展に多数の作品そして優秀な成績

平成26年度埼玉県硬筆展において以下7名の生徒が入賞し県展へと進みました。おめでとうございます。さらに努力して美しい字を書き続けてください。

- 1年生 中島妃代里さん 清水 葵葉さん
- 2年生 落合 絢乃さん 山本真奈美さん
- 3年生 菊池 未来さん 荒川 紫織さん 津田 依由さん

激戦に幕、次の舞台は県大会

平成26年度学校総合体育大会熊谷市予選会も無事終了しました。どの部も日頃の練習成果を遺憾なく発揮し、「正堂堂」の戦いを見せてくれました。また、応援をしてくれた皆さんも立派な態度でした。ありがとうございます。

さて、嬉しいことに10年ぶりに野球部が県大会出場を果たしました。野球部の皆さん本当におめでとうございます。予選を参観して感じたことは、やはり日頃の生活態度(挨拶・返事)や練習中の姿勢が素晴らしいチームが勝てるのだなと思いました。どんな窮地に立たされても、日頃の練習通りにプレーする野球部の君達を見て、強さの秘訣を見たような気がしました。これからは、熊谷市の代表です。県大会では悔いが残らないと思う存分のプレーをお願いします。

尚、個人戦でも数多くの選手が県大会出場を果たしました。陸上競技の部では、11種目12名の生徒が県大会出場と大健闘でした。以下、県大会出場者です。始めに男子の種目、3年寺山弘一君(1500m・3000m)・長谷川幸輝君(走高跳)・新井武尊君(砲丸投)・鈴木雄貴君(400m)・2年生柴田直輝君(100m)・1年篠田悟君(1500m)・福田共佑君(1500m)・次に女子の種目、3年菊池未来さん(200m)・2年清水結衣さん(800m)・田村有梨さん(100m)・4×100mRで徳山愛梨さん・内田真由さん・菊池未来さん・田村有梨さんのチームでした。また、体操の部で2年山本真奈美さん、水泳の部で3年清水翼君・1年船橋祐美さんも見事県大会出場を果たしました。皆さんたちの県大会での活躍を三屍中全員で応援しています。頑張ってください。

新チームの2年生諸君、この夏が勝負。新人戦を視野に入れた練習をしてください。



一生懸命やって勝つことの次にいいことは、一生懸命やって負けることなんだわ。

ルーシー・モード・モンゴメリ

ライントラブルとその対策

ラインによるトラブルが市内中学校でも多数発生しています。「いじめ」・「仲間はずれ」・「友人関係のもつれ」といった裏には必ずラインが絡んでいると言っても過言ではありません。

携帯電話やスマートフォンの危険性については、入学当初に保護者の皆様にお知らせをしておるわけですが、実際トラブルは増加傾向にあり学校でも手を焼いています。ご自分のお子様を信用することは大切なことですが、見届けをすることも忘れないでください。携帯やスマホを買い与えたのは保護者の判断ですので、ネット犯罪から子どもを守ることは保護者の義務のほうです。

以下の例は新聞紙上に載ったわずかな事案を掲載しました。この事案は、逮捕まで進んだ大きな出来事ですが、新聞には載らない多数のトラブルも発生しています。実際にトラブルに巻き込まれたり、トラブルを起こしてからでは遅いのです。また、一度流された流言飛語や中傷は消されることがなくさらに拡大していきます。そうなるからでは、手の打ちようがない状況に追い込まれてしまいます。特に画像をインターネット上に公開された場合には、回収や取り消しは不可能であることも十分承知をしておいてください。「誰」と「どのような内容の会話」をしているのか監督すること・フィルタリングを必ず利用すること・家庭のルールを決めること等は携帯やスマホを持たせる上で最低限のことと思います。もし、それが守れないようならば持たせる必要は無いと思います。かわいいお子様に災いが降りかかるのを防ぐことは、保護者の皆様しか出来ません。

とかく気が緩みがちな長期休業を目前に再度ご注意をお願いいたします。

月日	内容	罪名・場所	加害者	被害者
2014.02.21	交際女性にLINE「死ねよ」で女性自殺。自殺教唆の疑いで慶応大生逮捕 ・ラインで「お願いだから死んでくれ」「手首切るより飛び降りれば死ぬるじゃん」などとメッセージを送信し、自殺を決意させた疑い。女性は自宅マンションの8階ベランダから飛び降りて死亡。	自殺教唆の疑い 神奈川県川崎市	慶応大 3年 (21)	同じ大学で交際していた女性(21)
2014.04.07	AV男優の男、LINEを使って中学3年生と知り合いみだらな行為 ・少女と無料通信アプリLINEを通じて知り合い、やりとりを続けるうちに「直接会おう」という話になった。埼玉県内で初めて顔を合わせ、さいたま市内のホテルでみだらな行為に及んだ。	埼玉県青少年健全育成条例違反容疑 東京都内	AV男優の男(34)	中学3年の少女
2014.06.23	知人LINE無視に立腹、女子中学生を拉致監禁容疑、少年3人を逮捕 ・女子生徒に「彼氏を拉致しているから、1人で来い」などとLINEで連絡して呼び出し、自宅や国分寺市内のカラオケ店で不法に監禁した疑い。少年は「監禁や拉致したつもりはない」と容疑を否認。	未成年者略取と監禁などの疑い 東京都東大和市	アルバイトの少年(18)ら3人	私立中学1年の女子生徒(12)

以下は、『LINEで無用なトラブルを防ぐためにしておくべき12の事』より抜粋

1. 電話帳を送信するときは慎重に

LINEでは、電話帳を送信することで知り合いを友達リストに登録することができます。登録時に互いが連絡先を知っていればお互い「友だち」に登録されます。一方がだけが連絡先を知っている場合、連絡先を知っている方は相手が「友だち」に登録され、連絡先を知らない方は相手が「知り合いかも?」に表示されます。

これらは一見便利ですが、自分がLINEで連絡を取りたくない相手や、自分が全く知らない第三者が自分の連絡先を知っていた場合、電話帳を送信すると自動で友達に追加されてしまう可能性があります。友達に追加されてしまうとメッセージや通話ができってしまうので、電話帳を送信する際は慎重に。

2. 「友だち自動追加」をオフにする

「友だち自動追加」をオンにしていると、電話帳に登録している人が自動的に友達に追加されてしまい、連絡を取りたくないけど電話帳に連絡先が残っていた場合、思わぬトラブルに発展します。

3. 「友だちへの追加を許可」をオフにする

「友だちへの追加を許可」がオンになっていると、自分の連絡先を知っている他のユーザーの友達リストに自分のアカウントが自動的に追加されてしまいます。友達に追加されてしまった場合メッセージを送ることや通話が可能となってしまうので、オフにしておくこと。

4. 「IDの検索を許可」をオフにする

LINEでは、IDに登録すると連絡先を知らないもの同士でも友達に追加する事ができます。自分のIDが他人に推測されやすいものだったり、どこからかIDが漏れた場合など、他のユーザーに友達追加されてしまうこともありますので、必要なとき以外はオフにしておくこと。また、安易に自分のIDをネット上で公開しないこと。

5. ブロックを有効に使う

ブロック機能を使うと、相手からのトークや通話を拒否することができます(相手にはブロックしたことはわかりません)。怪しいアカウントからメッセージが来た場合や、自分が連絡を取りたくない相手に友達追加されてしまった場合などブロックを有効に使うことが効果ある場合があります。

6. 非公式のLINEアプリを使うときは慎重に

「LINE非公式サービス」の中には、悪質出会い系と言われるサクラサイトや高額請求をする詐欺サイトなどがあるとのこと。具体的な例では、「スカーパー被害」「迷惑メールが増えた」などもあげられている。最近、LINEの「友だち募集」などを目的としたサービス(スマートフォンアプリ・ウェブサイト)が増えております。無用なトラブルを避けるために使用しないこと。